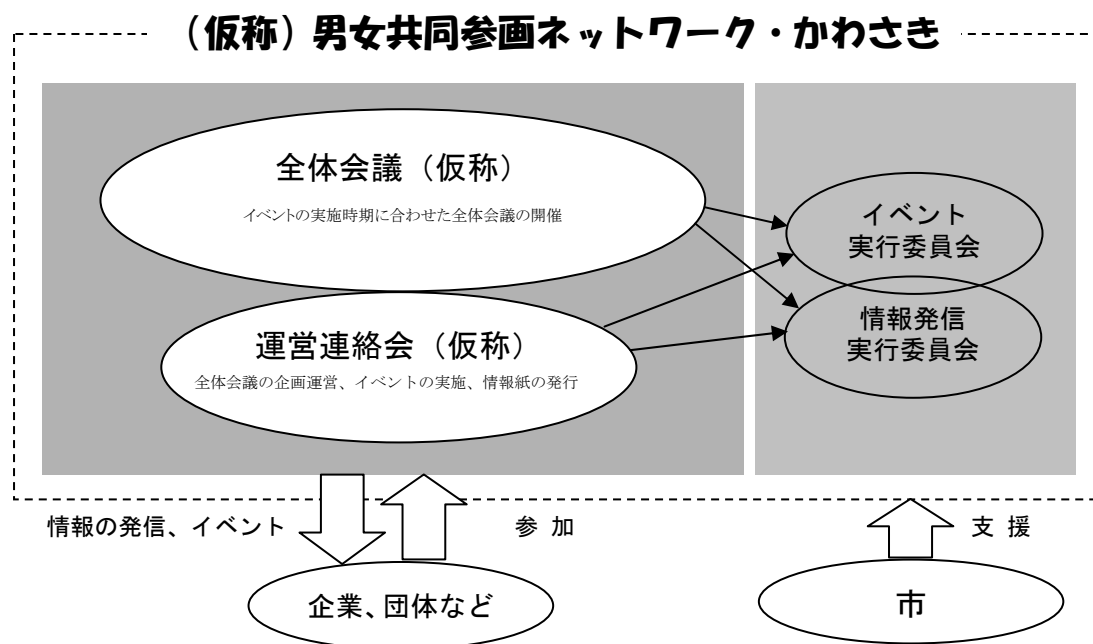


## IV ネットワークのイメージ



参加する市民活動団体、事業者が、ネットワークを通じて得た情報をそれぞれの組織において最大限に活かせるよう、有益な情報を提供できる仕組みづくりが大切だと考え、ネットワークの構成と活動内容については、他都市の先進事例に学び、以下のような具体的なイメージを議論しました。

- 1 ネットワークでは、「全体会議（仮称）」を設け、男女共同参画に関する全般的な情報交換、講演、各種顕彰等を行います。市民団体、事業者団体の代表者クラスが参加し、年1回程度の開催が期待されます。  
また、「運営連絡会（仮称）」を設け、全体会議の企画・運営、実務レベルの意見・情報交換を行います。参加団体の事務局長クラスや、市民活動団体メンバーが参加し、年に数回程度の開催が期待されます。
- 2 イベントとしては、企業経営者や団体の代表を対象とした講演会（トップセミナー）や、男女平等推進に積極的な事業所の顕彰、市民活動グループ等の男女平等推進に係る活動の発表、また、市の関連施設を利用して行う「男女平等推進週間」などといったおおきな規模の「まつり」などが考えられます。
- 3 情報発信としては、インターネットの活用を念頭におくこととし、将来的には、情報紙の発行も期待します。